

2008年12月09日

「マツダ ロードスター」をマイナーチェンジして発売

—初代モデルから継承する“人馬一体”の楽しさをさらに進化—

マツダ株式会社は、2人乗り小型オープンスポーツカー『マツダ ロードスター』をマイナーチェンジし、全国のマツダ系およびマツダアンフィニ系販売店を通じて本日発売する。車両本体価格(消費税込)は、手動式開閉ルーフの「ソフトトップ」モデルが2,330,000円～2,600,000円、独自の電動式開閉ルーフの「パワーリトラクタブルハードトップ(RHT)」モデルが2,680,000円～2,950,000円となる。



マツダ ロードスター「RS」(6MT 車)

今回の変更において『ロードスター』は、初代から継承する「人馬一体」のコンセプトを基に、内外装のデザインおよび質感、機能性、走行性能を細部にわたって進化・熟成させることにより、様々な“FUN(遊び)”を提供する同車ならではの魅力・商品性をさらに高めている。また、オープン走行の楽しさとクーペの快適性を両立する RHT モデルは、質感の高い外装パーツを専用装備するとともに静粛性を高める等、上質感や快適性をさらに高めた仕様としている。

外観については、マツダ車の特徴である5角形グリルを採用する等、フロント廻りのデザインを一新している。また、サイドボディ下部からリアバンパーへとつながるキャラクターラインが、スポーツカーらしい躍動感を表現している。全車に標準装備されるアルミホイールは2種類ともに新デザインとし、ボディカラーには質感の高いシルバー系「アルミニウムメタリック」や鮮やかな黄系「サンフラワーイエロー」を含む3色を新たに追加している。

内装では、新デザインの5連メーターやダークシルバー色の装飾パネル等をインパネ周りに、シート素材として触感の良い茶系の本革や、RECARO社製バケットタイプの本革／ALCANTARA®(アルカンターラ)*1を新採用することにより、室内空間の質感を高めている。また、5段階の温度調整機能付シートヒーター(本革シートのみ選択可)を設定する等、快適性も向上させている。

走行性能に関しては、MT車のエンジン最高回転数(レブリミット)を7,500rpmとすることにより、エンジンの伸び感を向上させている。操縦性については、フロントのロールセンター高およびサスペンションの最適化により、より自然な操舵感を実現している。また、AT車には「ダイレクトモード」*2や「アクティブアダプティブシフト(AAS)」*3といったスポーツ走行をサポートする機能を付加している。さらに、エンジンや車体から発生する音についても見直しを行い、静粛性を高めると同時に、心地良いエンジン音を実現している。

『ロードスター』は、ギネスワールドレコードにより「小型オープンスポーツカーカテゴリ生産台数世界一(50万台以上)」として2000年に認定されており、現在は「生産台数80万台以上」として認定されている。

*1 ALCANTARA® は Alcantara S.p.A の登録商標。

*2 Dレンジ選択のままステアリングシフトスイッチによるシフト操作を可能にする機構。

*3 路面の状況や車両の挙動を判断して最適なシフトを自動的に選択する機構。

■「ロードスター」マイナーチェンジの概要は以下のとおり

エクステリア

シンプルな造形や親しみやすい表情など、初代モデルから継承しているロードスターらしいスタイリングを維持しつつ、最近のマツダ車に特徴的なデザインモチーフを採り入れながらデザインを一新している。

- ・フロントには、マツダ車共通のデザインモチーフである5角形グリルを採用。引き締まった造形のヘッドランプユニットや、力強く流れる印象のフォグランプベゼルとあいまって、躍動的かつ洗練されたスタイリングを形成。また、フロントバンパーの両コーナー下端を張り出した形状とし、躍動感を際立たせるとともに空力特性を向上。
- ・サイド下部に配置したサイドシルガーニッシュにキャラクターラインを加え、リアバンパーにつながっていく形状とすることにより、スポーツカーらしい躍動感と安定感を表現。
- ・新デザインのコンビネーションランプがバンパーと滑らかにつながるリア形状に変更。また、バンパー下部の黒い部分の面積を拡大することによりスポーツカーらしい力強さを表現。
- ・RHTモデル専用装備として、クロームメッキで縁取られたメッシュタイプのグリルを採用。また、クローム調のヘッドランプインナーベゼル、シルバー塗装のフォグランプインナーベゼル、クローム調のアウタードアハンドル、クリアタイプのハイマウントストップランプも専用装備し、上質感を醸成。
- ・全車に標準装備されるアルミホイールのデザインを一新。16インチは、ロードスターらしい軽やかなイメージの5本スポークタイプ（「S」、「NR-A」、「S RHT」、「VS RHT」）。17インチは、立体的な形状で躍動感を表現する10本スポークタイプ（「RS」、「RS RHT」）。さらに、BBS社製鍛造17インチアルミホイールを「RS」、「RS RHT」、「VS RHT」にメーカーオプションとして設定。
- ・ボディカラーには、質感の高い「アルミニウムメタリック」、「Zoom-Zoom」スピリッツを表現した「サンフラワーイエロー」、濃灰系の「メトロポリタングレーマイカ」を新たに設定し、全8色をラインナップ。

インテリア

スポーツカーらしい心地良いタイト感と開放感を両立させつつ、質感と機能性を細部にわたって向上させている。

- ・スポーティな印象のダークシルバー色の装飾パネルをインパネ中央部に配置。また、センターパネルの空調ダイヤルに、シルバー塗装のリングを追加するなど質感を向上。
- ・視認性に優れた新デザインの5連メーターを採用。メーターコンソール中央の液晶表示を赤色の透過光に変更し、平均燃費計を新たに設定(オドメーター/トリップメーター/平均燃費/外気温との切り替え式)。
- ・ドア内側の収納ポケットを出っ張りのない形状に変更することにより足元スペースをすっきりするとともに、センターコンソール収納のリッド部分および両側のドアトリムアームレストにソフトパッドを追加することにより快適性を向上。
- ・新デザインのシートは4種類の設定。「VS RHT」を除く全車にスポーティなファブリック素材(ブラック)を、「VS RHT」には触感の良いハバナブラウン色の本革を標準装備。また、ブラック本革(「RS」および「RS RHT」)と、黒を基調とした本革とアルカンタラ^{®*1}素材を組み合わせた REGARO 社製バケットシート(「RS」、「RS RHT」、「VS RHT」)をメーカーオプションとして設定。
- ・シートサイドボルスター部の張出し量を拡大することにより、シートのホールド性を向上。また、5段階の温度調整機能付のシートヒーター(「VS RHT」に標準装備、「RS」および「RS RHT」にメーカーオプション設定)を新たに採用するなど、快適性も向上。
- ・専用開発された BOSE[®]サウンドシステムは、6チャンネルデジタルアンプにより7スピーカーをそれぞれ独立再生することにより、臨場感のあるサウンドを実現。BOSE[®]独自の走行ノイズ補償システム AUDIOPILOT™ 2搭載(「NR-A」を除く全車にメーカーオプション設定)。
- ・ポータブルオーディオ機器を接続できる AUX ジャック(外部入力端子)をセンターパネル下部に設置(「VS RHT」に標準装備、その他の「NR-A」を除く全機種にメーカーオプション設定)。



マツダ ロードスター「VS RHT」(6AT 車)

走行性能

走る、曲がる、止まるといった走りの基本性能を見直し、進化させることにより、ロードスターが初代モデルから一貫して追求してきた“人馬一体”感をさらに高めている。

[パワートレイン]

- MT 車について、鍛造クランクシャフトの採用によりクランク剛性を向上すると同時に、ピストンのフルフロート化やバルブスプリングの見直しにより、エンジン全体の精度を向上。出力のピークを従来の 6,700rpm から 7,000rpm に、最高回転数(レブリミット)を 7,000rpm から 7,500rpm とすることにより、高回転域での伸び感を向上。
- 高剛性の鍛造クランクシャフトの採用や樹脂製サージタンクの剛性最適化により、定常走行時の静粛性を高めると同時に、中低速から高速域までの澄んだ音質を実現。また、新開発の「インダクションサウンドエンハンサー」を 6MT 車に採用。空気がエンジンに流入する際に生じる吸気鼓動を増幅させて車内に響かせるこのシステムが、さらなる“走る楽しさ”を提供。
- 6 速マニュアル変速機は、1 速～4 速のトリプルコーンシンクロのアウトターコーンをカーボンコーティングし、3～4 速のシンクロサイズをアップすることで、滑らかなシフトフィールを実現。
- 電子制御 6 速オートマチック変速機(アクティブマチック)には、「ダイレクトモード」や「アクティブアダプティブシフト(AAS)」を新たに採用することにより、ドライバーの意思に応じたスポーティな走りをサポート。

[ボディ&シャシー]

- フロントのロールセンター高を 26mm 下げることにより、旋回時のコーナー外輪の上下荷重変動を小さくし、ステアリングの切り始めから自然なロール感と操舵に対するリニアな応答性を向上。サスペンション各部の最適チューニングとあいまって、“人馬一体”を実感させる操舵感と上質な乗り心地を高次元で両立。
- フロントバンパーの両コーナー下端およびリアコンビネーションランプを水平方向に張り出した形状にすると同時に、床下に配置されたフロントタイヤディフレクターの面積を拡大することにより空力特性を改善。

静粛性

ドアモジュールに曲げ弾性に優れた素材を採用し、補強リブを追加することにより剛性を改善。No.2 クロスメンバーへの補強材追加とあいまって静粛性を向上。また、RHT モデルでは、発泡ウレタン材充填フロントサスクロスメンバーの採用やルーフへの制振材追加により、ロードノイズを低減。

環境・安全性能

ロードスターが提供する“Fun”をさらに追求するべく、環境・安全性能の領域でも進化させている。

- 触媒の改善等により、全車が「平成 17 年基準排出ガス 75%低減レベル (SU-LEV)」に認定。
- 切り替え式の平均燃費計／外気温計をメーターコンソール内に採用。
- 横滑り防止機構「ダイナミックスタビリティコントロールシステム (DSC)」を採用し、安心感のあるリニアな走りをサポート(「RS」、「RS RHT」、「VS RHT」に標準装備)。
- 衝突安全性能では、オープンボディに最適化されたマツダ独自の高剛性・安全ボディ“MAGMA”、エアバッグシステム、歩行者保護に配慮したショックコーン構造ボンネットなどにより乗員および歩行者への衝撃を軽減することにも配慮。

■「ロードスター」の車両本体価格は以下のとおり

ソフトトップモデル

(*は添付写真のモデル)

機種	駆動	エンジン	変速機	車両本体価格(円)	
				消費税込	消費税抜
S	2WD (FR)	2000 DOHC	5MT	2,330,000	2,219,048
NR-A				2,450,000	2,333,334
RS			6MT	2,600,000*	2,476,191

パワーリトラクタブルハードトップ(RHT)モデル

(*は添付写真のモデル)

機種	駆動	エンジン	変速機	車両本体価格(円)	
				消費税込	消費税抜
S RHT	2WD (FR)	2000 DOHC	6AT (アクティブマチック)	2,680,000	2,552,381
RS RHT			6MT	2,860,000	2,723,810
VS RHT			6AT (アクティブマチック)	2,950,000*	2,809,524

- 上記車両本体価格に加えて、購入時にはリサイクル料金 10,910 円(「NR-A」のみ 10,600 円)が別途必要。